

北海道ぎょれん広報

なみまるくん

7
2023

No.417



「うみ・なかまコミュニケーション」



特集

第61回 北海道漁業協同組合長会議

第74回 ギョレン通常総会

道産子はほっけで心身の魅力アップ!

たんぱく質は極力魚から摂取したいと考えています。なぜなら健康維持の理想的なたんぱく質補給は魚類を最も多くし、次に鶏肉、そして時々豚肉や牛肉、ラム肉など赤肉をとることだからです。そのためほぼ毎日行くスーパーでは魚売り場を必ずチェック。今時季は生ほっけが並んでいるので、かなりの頻度で購入しています。私は開きほっけも好きですが、生ほっけの方が料理に活用しやすいので好きですね。春から夏のほっけは塩焼きやフライに合います。バターで焼いてムニエルにしたり、パスタの具材にしたり…。最近、特に気に入って作っているのが「ほっけの揚げないフライ」。

三枚におろしたほっけに塩とこしょうをふり、オリーブオイルを熱したフライパンでソテーします。アルミホイルの上に焼いたほっけをのせて、パン粉を全体にふり、オーブントースターで焼きます。パン粉に焼き色がついたら出来上がり。キャベツの千切りやトマトなどを添えて器に盛り、中濃ソースなどをかけていただきます。揚げ物ではないので、暑い夏の料理もこれなら苦になりません。そしてビールにもピッタリなのです(笑)。

ほっけは成長とともに体の色が、緑がかった青色から黒みをおびた褐色へと変わります。さらに青ぼっけ、ろうそくぼっけ、真ぼっけ、根ぼっけと大きさや時期など呼び名が変わる魚でもあります。ほっけにはたんぱく質の他にも「ドコサヘキサエン酸(DH A)」、「エイコサペンタエン酸(EPA)」、免疫力アップに働く「亜鉛」や「ビタミンD」、神経を穏やかに保つ「マグネシウム」、そして個人的に好きな栄養素でもある「銅」が多く含まれています。銅は肌や髪の色を維持するのに欠かせないミネラルなので、美容的に推している栄養素のひとつ。また貧血予防にもおすすめです。北海道を代表する魚でもあるほっけ。おいしさばかりではなく、栄養的観点からも優れた魚と言えるでしょう。



上坂マチコ
お食事のカウンセリングサロン
O&A代表/管理栄養士/料理家
/YouTube
テレビ出演、新聞・雑誌などでコ
ラム連載や栄養監修、レシピ、ス
タイリングの提供などを行う。
講演会や食事指導、料理講師、短
大・専門学校非常勤講師など
活動は多岐。ぎょれんと共に昆
布や鮭の情報を広く発信。

01 マチコさんのおさかなコラム
「道産子はほっけで心身の魅力アップ!」

02 特集1
第61回 北海道漁業協同組合長会議

06 特集2
第74回 ゑれん通常総会

08 なみまるインフォメーション

10 道民の森で「お魚殖やす植樹運動」植樹行事が開催

11 頭すっきり!! ブレイクタイム

12 大漁祈願!
浜のほっとニュース

13 みなさんのお便りでつくるページ
なみまる おたより箱



道民の森で行われた「お魚殖やす植樹運動」では、約70名が集まりミズナラとニレの苗木合計500本を植えました。厳しい自然環境に耐えながら、50~100年という時間をかけて森として成長していきます

表紙の写真
石狩管内当別町 道民の森です

第61回 北海道漁業協同組合長会議



3つの議案と特別決議案が原案通り承認、決議された、第61回北海道漁業協同組合長会議



ぎょれん 阿部会長



議長を務めたいぶり噴火湾漁協 岩田組合長と副議長を務めたえさん漁協 上見組合長

(2) 漁業実態に即した資源管理の推進

- ① ホッケ（道北系群）の資源管理については、資源評価による将来予測が困難であることに加えて、本道を代表する混獲魚種であり、TAC管理には適さないことから、道、道総研の指導のもと、着実に資源回復の効果をあげている自主的資源管理を発展させた「北海道スタイル」を基本としたものとする
- ② マダラの資源管理については、精度が低い資源評価や混獲に係る対策のほか、捕食による他資源への影響が問題視されることから、TAC管理の導入は行わない
- ③ ブリの資源管理については、定置網を中心とした混獲魚種であり、漁獲枠超過に伴う操業停止や秋鮭の漁獲が制限されることがないようにすること

また、ブリの他資源への捕食による影響を明らかにした上で取り進めを行うこと

- ④ クロマグロのTAC管理において、適切な本道漁獲枠の確保と迅速かつ円滑な融通措置を実現するとともに、漁獲制限により逼迫した漁業経営を強いられる漁業者に対する支援を行うこと。また、増加するクロマグロにより漁具被害が深刻化しているイカ釣り漁業者に対して、漁業被害への補償等の支援を行うこと
- ⑤ スケトウダラについては、資源の変動要因となる海洋環境の変動を踏まえた精度の高い資源評価による漁獲枠の設定を実現することにも、TAC数量を固定した場合であっても、未利用分の漁獲枠を次年度へ相応の繰越が出来るようにするなど、漁業者の意見を踏まえた弾力的な運用を行うこと

(3) 本道沿岸域における密漁・遊漁対策

- ① 悪質巧妙化する組織的密漁の抑止のため、取締

6月15日（木）、札幌市の第二水産ビル大会議室で「第61回北海道漁業協同組合長会議」が開催されました。会議では5月16日（火）の「北海道漁業協同組合長会議実行委員会」で審議された3つの決議案と特別決議として「福島第一原発アルプス処理水の海洋放出に係る対策」が上程され、原案通り決議されました。

ここでは、決議内容についてお伝えします。

特別決議

福島第一原発アルプス処理水の海洋放出に係る対策

- (1) 福島第一原発・アルプス処理水の処分に係る対策
 - ① 漁業者・国民の理解が得られない中で、アルプス処理水の海洋放出は絶対に行わないこと
 - ② 同処理水の保管を継続するとともに、海洋放出以外の新たな保管・処理方法などの検討を続けること
 - ③ 同処理水の海洋放出の決定や実施に伴う風評被害が発生しないよう、国内外に対して道産水産物の安全性の周知を図ること
 - ④ 同処理水の海洋放出に伴う風評被害が生じた場合に備え措置された水産物需給対策や東京電力による損害賠償制度等の各種対策について、本道の漁業・流通の実態に即した運用を行うこと

の強化と更なる罰則の強化（拘禁刑）・厳罰化を図るとともに、夜間遊泳・潜水に対する規制や届出制の導入などの措置を講じること

- ② 遊漁者による釣果物やゴミの投棄等に対する罰則の強化やガイドラインの策定などの環境保全対策を講じるとともに、漁業者・地元住民とのトラブルを防止するための枠組を構築すること
- (4) 外国漁船による過剰漁獲抑止に向けた取組
 - ① 外国漁船によるスルメイカ・サンマ等の回遊魚への過剰漁獲に対して、取締の強化や実効ある国際的資源管理の枠組を構築すること
- (5) 増養殖事業・栽培漁業による資源増大対策の推進

- ① 水産資源の回復・増大を図るため、増養殖事業・栽培漁業における種苗生産等の技術開発・育苗や施設整備に必要となる予算を最大限に確保するとともに、継続的かつ効果的な支援を行うこと
- ② 秋サケについて、種苗生産体制の維持・安定を図るため、資源の減少要因の解析、親魚確保、孵化放流技術の研究強化等、実効性のある資源回復措置を早急に講じるとともに、資源が安定的に回復するまでの間、国において孵化放流事業や施設整備に係る支援を行うこと

- ③ 昆布、サンマ、イカなど資源が低位にある魚種について、資源減少等の原因究明に努めるとともに、不漁問題対策として海域の特性に合った実効ある資源増大対策を講じること
- ④ ホタテの斃死や養殖資材へのザラボヤの大量付着の原因究明のための調査研究の強化をはかり、実効性のある対策を行うこと
- ⑤ 海域状況に適合する放流事業等、カキ、アサリ、ウニ、ツブなど、各浜において自ら取り組んでいる栽培漁業について、効果的な資源増大対策

- ⑥ 漁業者が将来に亘り漁業を安心して継続できるように措置された「漁業者支援事業」について、実効性の伴った制度設計と運用を行うこと

決議第1号

本道漁業の実態に即した資源管理・資源増大対策

- (1) 新たな資源管理の導入に係る対応
 - ① 漁業者は、この間のTAC管理ありきの議論に強い懸念を抱いていることから、新たな資源管理の検討にあたって、漁業者の理解・納得を得られない場合は、断じて取り進めを行わないこと
 - ② 資源評価の精度、魚種の生態や漁法（混獲）の特性からTAC管理が困難な魚種については、インプットコントロール（投入量規制）・テクニカルコントロール（技術的規制）等の手法により、漁業実態に即した資源管理を行うこと
 - ③ 漁獲の大半が混獲される魚種の場合、漁業現場の大混乱を招くことがないよう、TAC管理導入の議論に先立ち、混獲した魚を分別する技術開発を先行させること
 - ④ TAC管理検討魚種における捕食・被食の相關関係が明確ではなく、水産資源や操業への影響が懸念される場合においては、十分な知見が得られるまで、操業実態を重視した管理とすること
 - ⑤ TAC管理の導入を検討するにあたり、国は、漁獲・流通等のビジョンを示すとともに、強度な資源管理を行う場合は、漁業者・漁協の経営への支援策を示すこと

の推進を図ること

- ⑥ 漁業者・漁協による陸上養殖の研究や取組について積極的な支援を行うこと

決議第2号

漁業経営基盤の強化に資する対策

(1) 漁業収入安定対策の制度改善と新たな資源管理導入に対応した減収対策

- ① 漁業共済制度（漁獲・特定養殖共済）において、補償水準（共済限度額率）の引上げ等の制度改善、補償の対象外となつてゐる漁業に係る制度の検討・整備を図ること
- ② 漁業施設共済において、定置網に係る制度の抜本的見直しを図ること
- ③ 漁業収入安定対策事業において、「掛金追加補助率の維持」、「漁場改善計画の見直しに沿った加入要件の改善」並びに「強度資源管理タイプにおける払戻水準の引上げ措置・特例措置の継続実施と対象魚種の追加」を行うこと
- ④ 新たな資源管理の導入にあたり、資源管理目標達成のための休漁・減船等に対応した新たな所得補償対策の導入を図ること
- (2) 漁業経営におけるコスト削減対策の拡充強化
 - ① 漁業経営セーフティネット構築事業について、国の負担割合の更なる引き上げを図るとともに、対策の発動の際には現行方式から一定価格を上回った場合の上昇分を補てんする方式に変更すること
 - ② 漁業用ガソリンの免税措置の導入と漁業用燃油に係る免税・還付措置の恒久化を図ること
- (3) 計画的設備投資に向けた取組
 - ① 水産業成長産業化沿岸地域創出事業の予算を十分確保し、事業を基金化した上で、補助対象となる機器の範囲を拡大すること

- (2) 漁業有害生物による被害対策
- ① 海獣などの有害生物の食害による前浜の水産資源への影響を調査するとともに、水産資源の回復に必要な施策を講じること
 - ② 有害生物漁業被害防止総合対策事業において、十分な予算の確保を図るとともに、サメ・シヤチ・ラッコ等に対して事業対象範囲を拡大すること
 - ③ トド・アザラシ・オットセイ等海獣類による漁業被害に対する被害補償制度の創設と国の責任による専従ハンターの確保などの対策を講じること
 - ④ ホタテの斃死やザラボヤ被害の原因究明と対策の拡充・強化を図るとともに、ザラボヤ除去・処理に係る支援の拡充を図ること
 - (3) 漁場の安全確保対策
 - ① 日本近海における近隣諸国によるミサイル発射や軍事演習により、洋上の漁撈作業が危険にさらされていることから、国境監視体制の強化とともに全道を完全に網羅した無線局・漁船間の迅速な情報受信体制の更なる強化等を図ること
 - ② 離島・僻地等の沿岸域においては、携帯電話の活用が困難なエリアがあることから海難事故に対する備えとして早急に基地局等の設置を図ること
 - (4) 水産多面的機能発揮対策事業の拡充強化
 - ① 水産多面的機能発揮対策事業（藻場干潟、水域監視等）について、事業の拡充並びに予算の復活・恒久化と事務手続きの簡略化を図ること
 - (5) 自然災害・各種工事等による漁業被害の回避に向けた対策
 - ① 流木被害が発生した際に、漁協等の要請に応じ、行政が一元的窓口となった流木等漂着物の迅速な撤去体制を構築するとともに、流木捕捉工の設置等、流木の河川や海洋への流出未然防止対策の更なる拡充強化を図ること
 - ② 漂流漂着する海洋プラスチックごみ・流木等の

- ② 水産業競争力強化漁船導入緊急支援事業（浜の担い手漁船リース事業）においては、継続的な予算の確保と拡充強化を図ること
- ③ 水産業競争力強化型機器等導入緊急対策事業においては、十分な予算の確保と補助対象範囲の拡大や要件緩和を図ること
- ④ 共同利用施設の整備に不可欠となっている水産業強化支援事業等の十分な予算確保を図ること
- (4) 道産水産物の加工流通対策の拡充強化
- ① 水産物需要の減退等に対して、道産水産物の魚価維持・流通安定・輸出事業拡大等の支援策の拡充を図るとともに、魚食普及活動への支援を拡充強化すること
- ② 流通滞留魚種の目詰まり解消のため、特定水産物供給平準化事業の継続と対象魚種の拡大並びに大規模な予算措置を行うとともに、切れ目ない事業活用を可能とするために基金事業化を図ること
- ③ 北海道新幹線の札幌延伸に伴い、JR北海道から切り離される並行在来線が廃線となり、鉄道による貨物輸送が行われない場合、道内一次産品の流通に多大な影響が生じることから、国の責任において鉄道貨物輸送の機能を将来に亘り維持すること
- ④ 令和6年度より物流業界に対して時間外労働の上限が設定されることを踏まえ、水産物を運搬するトラックの手配が困難となったり輸送コストが大幅に増加することがないよう対策を措置すること
- (5) 漁業者・漁協に対する金融支援措置の拡充強化
- ① 不漁や自然災害、コロナ禍の影響を受けたことにより、経営改善が困難となっている漁業者に対して、漁業近代化資金の法定償還期限を超える期限

- 漂着物撤去のために、海岸漂着物処理推進法に係る十分な予算措置を講じること
- ③ 台風や低気圧被害による漁業施設への被害や海岸護岸崩落に対し、補修や強化整備の早期実施や迅速な支援、海岸侵食保全措置を講じること
 - ④ 河川・湖沼改修工事、大型インフラ工事（新幹線トンネル・道路等）のほか、昨年、発生した宿泊施設からの油漏れ事故等に対する漁場環境への保全措置を講じること
 - ⑤ 農地崩落が発生した際の早期復旧体制を構築するとともに、農薬・農業系廃棄物の流出等に対する漁場環境への保全措置を講じること
 - ⑥ 船舶（外国船を含む）の座礁事故の未然防止対策並びに事故発生時の座礁船処理と流出した油を除去する体制の整備を図るとともに、漁業被害補償の枠組を早急に構築すること
 - (6) 脱・抑プラスチックに資する取組
 - ① 河川海洋環境保全のため漁業者が実施するプラスチック製品の抑制、再利用、再資源化等の取組を推進するため、プラスチック漂着物の堆積量調査を実施するとともに廃網・FRPの廃船を効率よく低コストで処理が可能となる体制の構築を支援すること
 - ② 昆布などの海藻類によるブルーカーボンに資する効果について、科学的知見を明らかにするとともに、漁業者が実施するブルーカーボン効果に着目した海藻類などの資源増大に向けた取組を支援すること
 - (7) 洋上風力発電に係る対応
 - ① 施設の設置・稼働による水産資源への影響に対する精緻な調査を実施するとともに、漁業現場が混乱することのないよう、関係者間の十分な協議を促進すること

- 延長及び金融円滑化に資する漁業信用基金協会保証付き長期運転資金の融資措置を講じること
- ② 漁業近代化資金について、漁船価格高騰等に応じた貸付限度額の引上げ、実耐用年数に見合った償還年数の延長、沿岸漁業者の経営形態に即した漁船トン数制限の見直し等の措置を講じること
 - (6) 漁協経営への支援
 - ① 水揚の減少に伴い、収支が悪化した際においても漁協の経営を維持させるため、漁協に対する支援措置の創設を図ること
 - ② 電気料金の高騰により製氷冷蔵庫等を有する漁協の経営が圧迫されていることから、電気料金の負担軽減や自家発電施設・消費電力抑制に資する機器等導入への支援を行うこと
 - (7) 本道水産業の担い手・外国人材等の確保対策の強化
 - ① 新規漁業就業者や漁業後継者の生活基盤の安定化のため、着業支援給付金による支援や漁業技術の向上などの育成支援体制の拡充を図ること
 - ② 廃止が検討されている外国人技能実習制度について、特定技能資格とは異なる新たな制度を設ける場合は、本道の漁業実態に即したものとするため、漁業関係者との十分な協議を行うこと
 - ③ 特定技能資格制度について、在留上限年数や配乗人数等の人員制限の撤廃、漁船漁業と養殖業の区分を撤廃するとともに、陸上作業（荷捌き・陸廻り等）や漁協自営工場で漁獲物を加工する場合には漁業の延長線上の業務と見なすなど、漁業実態に即した制度となるよう改善・弾力的な運用を行うこと
 - ④ 水産加工場などの従業員確保が困難となつてい

- 基準所得の引上げや社会保険料の負担が義務づけられる基準所得の見直しなどを検討すること
- (8) 新型コロナウイルス感染症に係る緊急対策の継続
 - ① 今後のコロナ禍の収束後を見据え、令和2年度以降に措置された漁業経営の安定に資する持続化給付金、特定水産物供給平準化事業や金融対策等の各種施策の継続と拡充を図ること
 - (9) ロシアとの漁業外交の継続と操業の安定確保
 - ① ロシアとの外交関係の悪化により、漁業者の操業機会が失われないようにすること
- 基
- 決議第3号
- 次世代に向けた漁場環境の保全対策
- (1) 赤潮による漁業被害に係る実効ある対策
 - ① 赤潮の発生原因とそのメカニズム、水産動植物等への影響の解明とともに、赤潮のモニタリング体制の効果的な運用を行い、赤潮予見システムの開発や未然防止対策を講じること
 - ② 赤潮による被害を受けた資源の回復には長い期間を要することから、北海道赤潮対策緊急支援事業の継続した措置と円滑な事業活用に向けて弾力的な運用を行うこと
 - ③ 漁獲共済制度において、対象魚種の拡大を行うとともに、北海道赤潮対策緊急支援事業の活用が困難である漁業者や漁業収入安定対策事業の補償対象とならない漁業者に対する新たな支援制度を設けること
 - ④ 赤潮により大きな影響が生じたツブ等の資源について、種苗生産技術の開発等を行うとともに、資源回復と操業再開を早期に実現するため、増養殖事業に係る施設整備を含め、種苗生産に対する中長期的な支援を行うこと



左から川崎ぎょれん前会長、福原共済組合前組合長、池守古宇郡漁協組合長、森戸井漁協組合長、野上島牧漁協専務

- 令和5年度
北海道漁協系統運動功労者表彰
- 《団体長としての表彰》
- 川崎 一好さん
北海道漁業協同組合連合会 前代表理事会長
北海道漁業信用基金協会 元理事長
- 福原 正純さん
北海道漁業共済組合 前組合長理事
北海道JF共済推進本部 前本部長
共水連北海道事務所 前所長
- 《代表理事組合長としての表彰》
- 池守 力さん
古宇郡漁業協同組合 代表理事組合長
- 森 祐さん
戸井漁業協同組合 代表理事組合長
- 《常勤役員としての表彰》
- 野上 儀廣さん
島牧漁業協同組合 専務理事



開会の挨拶をする阿部会長

北海道の生産量は、「ほたて」や「いわし」の安定的な生産や「秋鮭」の水揚げの回復に支えられ百十六万トンと昨年並みを維持できたものの、「昆布」、「いか」、「さんま」といった太宗魚種の水揚げは低位にあり、地域や魚種間の水揚げ格差はより一層、顕著となりました。

その一方、漁業生産額については、社会経済活動の再開や国の補助事業などを活用した魚価対策により、「ほたて」をはじめ魚価が持ち直し、七年ぶりに三千億円を超えました。

また、流通面では、コロナ感染症により厳しい環境に置かれた業務筋も回復の兆しを見せており、この間、伸びた巣ごもり需要など変化し

令和4年度の事業概要

阿部会長 挨拶



第74回 ぎょれん通常総会

令和4年度の取扱金額は3413億円
令和5年度は新たな中期的事業推進方向を「持続可能な未来を創る北海道漁業の実現」とし、課題解決に挑戦

ぎょれん総会は、阿部会長の挨拶（次頁に掲載）のち、船泊漁協の大石組合長が議長に選任され、議事が進行しました。「令和4年度の決算」、「令和5年度の事業計画」など、7つの議案が審議され、いずれも原案通り承認されました。



議長を務めた船泊漁協 大石組合長

たマーケットに照準を合わせ、北海道ブランドを前面に、品質の優位性を打ち出した販促活動を展開してきました。

輸出については、世界的な水産物需要が年々高まっていることに加え、為替にも後押しされ好調に推移しました。

次に漁政対策につきましては、持続可能な「漁業・漁村の発展」を目指し、「漁業経営の安定」や「本道の漁業実態に即した適切な資源管理及び資源増大対策の推進」などを重要課題と位置づけ、国や道へ要請活動を展開しました。

そして、福島第一原発におけるアルプス処理水の海洋放出について、断固反対の立場であることを改めて申し入れをするともに、本道の漁業や水産物流通に対する風評被害が発生した場合に備えて、万全の対策を国に要請しました。

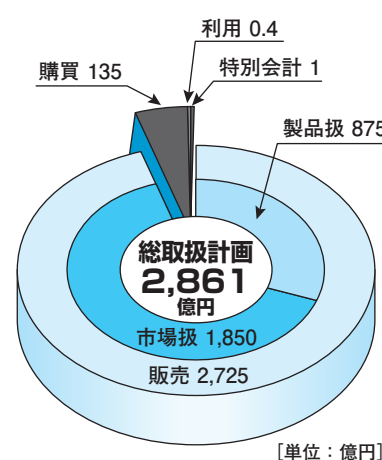
なお詳細は、先ほどの組合長会議の決議実行経過で報告した通りであります。

また、指導教育活動については、漁協経営の健全化・適正化に向けた指導継続と、役職員をはじめとする人材の育成・確保への取組支援を行いました。

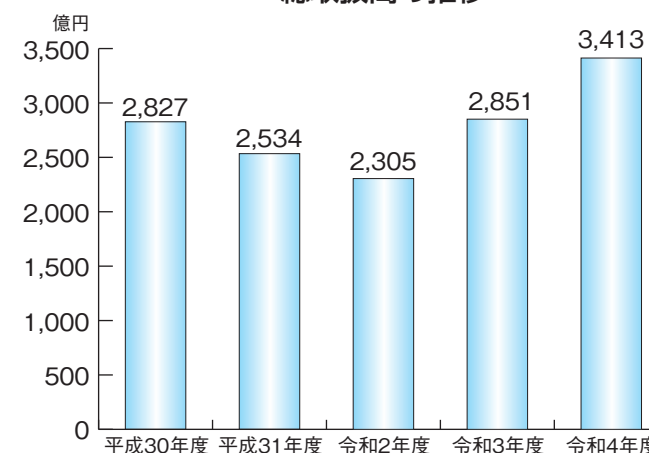
環境対策としては、海獣等の有害生物による漁業被害防止に向けた取組に加え、流木などの度重なる自然災害による漁業被害の防止や赤潮のモニタリング体制の実現に向け取り組みました。

更に、海洋プラスチック対策の実践的取組の一環として生産者自らが行う海浜清掃「全道なみまるクリーンアップ作戦」を展開するなど、持続的に安心して生産活動に取り組むことが出

令和5年度事業別取扱計画



総取扱高の推移



令和5年度の事業計画

次に事業計画の考え方について申し上げます。

北海道の生産量は依然として低水準であり、地域経済にも深刻な影響を及ぼしています。

このようななか、新たな中期的事業推進方向を「持続可能な未来を創る北海道漁業の実現」とし、組織を挙げた課題解決に挑戦していく決意です。

また、先ほどの組合長会議で「アルプス処理水放出に係る特別決議」に加え、3つの決議が採択されました。いずれも北海道漁業にとり喫緊の課題であると認識しています。

本会と致しましては、新たな3カ年事業推進方向の初年度として、各種対策に総力を挙げ取り組んで参る所存ですので、会員各位の特段のご理解とご支援をお願い申し上げます。

ぎょれん新役員紹介

ぎょれんの役員として、新たに次の方が就任されましたのでご紹介いたします。※敬称略

○理事 新谷 哲也（網走漁協）
（6月15日開催の通常総会にて就任）

購販活動の一層の推進へ本年度の活動目標を確認 各地で「漁協購販推進委員長・事務局長会議」が 順次開催されています

5月10日(水)に開催された漁協購販推進全道地区委員長会議。この会議で令和5年度の漁協購販推進活動について承認を経たことから、各地区においても委員長会議が開催されています。

すでに開催された地区会議では、前年度の購販推進活動報告、令和5年度の具体的活動方針の確認に加え、最新の石油情勢や系統ブランド資材の推進状況、各地区の主要魚種の水揚げや消費・流通動向などについて情報提供が行われ、今後の水揚げや漁業経営の安定に期待が寄せられました。

また、新型コロナウイルス感染症の影響で近年開催が見送られていました管内の購販・マリンバンク・共済推進委員の皆さんが一堂に会する三連合同研修大会の開催についても今年度の開催時期や研修内容について意見交換が行われました。



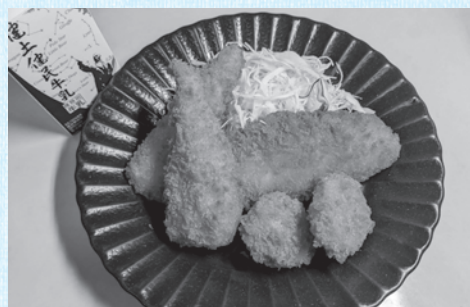
6月9日(金)に開催された胆振地区購販会議

道産水産物を活用して牛乳の消費拡大を 2日間限定、酪農学園大学の学食で ぎょれん特別メニューを販売しました

6月1日(木)・2日(金)の2日間、酪農学園大学(江別市)の生協食堂でぎょれん協賛の特別メニュー(秋鮭のフライ、ほたて貝柱フライ、ほっけのフライ3品と酪農学園大学製造オリジナル牛乳・健士健民牛乳のセット)を限定100食で販売し、両日とも食堂オープン前から多数の学生たちが列を作り、用意していた分があっという間に完売の大盛況となりました。

この取組は、ぎょれんが推進する「道産水産物を活用した牛乳消費拡大を応援する施策」の一環として、北海道の未来を見据え、同じ一次産業に携わっていく同大学の学生を応援しようと、6月1日の「牛乳の日」を記念して実施されました。

実際に特別メニューを食べた学生からは「ボリュームたっぷりなのが嬉しい」「並んだ甲斐があって、おいしかった」など、多くの喜びの声をいただきました。



道産の秋鮭、ほたて、ほっけのミックスフライに牛乳が付いて319円(税込)で提供

全国漁業協同組合学校 オンライン学校説明会開催のお知らせ

全国漁業協同組合学校は、漁協職員を養成する全国唯一の教育機関として専門的知識の習得や将来の漁協幹部候補生を見据えた教育を行っており、2024年度の学生(現職者・一般)募集が8月21日(月)から開始されます。

募集開始に伴い、オンライン学校説明会を開催します。学校を知る良い機会となりますので、興味のある方、進学先に悩んでいる方は、ぜひご参加下さい。参加希望者は、全国漁業協同組合学校ホームページの「リンク」>「お問い合わせ」のフォームか下記QRコードから事前申し込みをお願い致します。



(オンライン説明会予約)

〇オンライン説明会日程(Zoom)

7月 8日(土) ①11:00~ ②14:00~
7月22日(土) ①11:00~ ②14:00~

※ぎょれんの奨学金制度の対象校です。奨学金制度について詳しくはお近くの漁協まで問い合わせ下さい。

医療の分野での脱・抑プラスチックへの一助に 北大病院へほたての貝殻粉末を使った 医療用メディカルペールを寄贈しました

5月22日(月)、札幌市の北海道大学病院において、原材料の一部に道産ほたての貝殻粉末を使った医療用メディカルペール(感染性廃棄物用の密閉容器)の寄贈式が行われ、ぎょれんの安田専務から北海道大学病院の渥美病院長へメディカルペール3000個(病院で使用する約3カ月相当分)の目録を贈呈させていただきました。

この医療機関へのメディカルペール贈呈は3月に実施した恵佑会札幌病院に続き2回目の取組で、ぎょれんが進める脱・抑プラスチック活動の一環として水産業界のみならず、多方面から環境問題に対する解決への一助となるよう実施しました。医療機関で排出される使用済みの注射針や手術着などにはウイルス類が付着している可能性があり、メディカルペールは廃棄物から感染しないよう適切に処分するために必要不可欠な容器として多くの病院で使用されています。そのメディカルペールをより環境に配慮した容器として印刷大手の凸版印刷(株)と協力し、ほたての貝殻粉末を利用して製造。一般的な硬質プラスチックの製品と比べ、強度や密閉性に関しても十分な基準を満たしたうえで約1割のプラスチック使用量を削減しています。



ぎょれんの安田専務(左)から北海道大学病院の渥美病院長(右)へ目録を贈呈させていただきました



実際に展示されたほたて貝殻粉末を利用して作られたメディカルペール(左)と医療現場での利用イメージ(右)

全国から168社・240名がご参加 4年ぶりに道ぎょれん会 お取引先懇談会を開催しました

5月25日(木)、札幌市内のホテルでぎょれんが主催する「道ぎょれん会 お取引先懇談会」が開催され、全国から168社・240名のお客様が参加されました。

会の冒頭、主催者を代表して阿部会長は、近年の北海道水産物の生産・流通動向について触れながら「会員の皆さま方とのお取引関係をさらに強靱なものとしていけるよう、情報の提供と提案型営業の質をさらに高めるなど営業体制を一層強化して参る所存でありますので、よろしくお引立てのほどお願い申し上げます」と挨拶しました。

続いて菊池副会長からぎょれんが令和5年度からの3年間で掲げる「中期的事業推進方向」と「令和5年度事業計画」について北海道漁業の現状や課題、ぎょれんのSDGsの取組について資料を示しながら説明。

そして休憩を挟んで後半は、野球解説者・スポーツコメンテーターの岩本勉氏による「野球が教えてくれたこと〜野球心〜」と題した特別講演が行われ、参加された皆さんは岩ちゃんの軽快なトークと時折のジョークで最後まで楽しく講演に聞き入っていました。



新型コロナウイルス感染症の影響で、4年ぶりの開催となりましたが大勢の方にご参加いただきました



岩ちゃんのお父さんで親しまれている岩本氏。経営者や指導者にとって大変参考になるエピソードは参加者の方の共感をよんでいました

シークワードクイズ

7月のテーマ 「アウトドア用品」

シ	キ	ケ	ユ	バ	ト	ル
マ	ト	ピ	ケ	フ	イ	ナ
ル	ス	ツ	イ	ホ	ラ	ス
グ	ラ	ケ	ミ	フ	コ	グ
ー	ヘル	メ	ツ	ト	マ	
ゴ	ア	ス	プ	ー	ン	ア
ウ	ヨ	キン	ガ	ウ	ソ	

どれにも使用しなかった文字を
うまく並べてください。

解答 □□□□ となります。

くわしい応募方法は、13ページをご覧ください。
抽選で5名様に図書カードをプレゼントします。

リ	キン	カ	ラ	アイ
ク	カム	サ	ホル	マ
ナ	シ	ハ	ウ	ミ
キ	フ	チ	イ	ホ
ユ	ヨ	キ	ヤ	グ
ウ	ヤ	カン	フ	ル
ス	タ	ス	ポ	ン
ジ	コ	マ	イ	

6月号の解答と当選者 マナタ

(小樽市) 宮古 登美子さん
(神恵内村) キム ニイさん
(島牧村) 高島 里子さん
(帯広市) 帯広ミドリ色さん
(別海町) 野口 たえ子さん

7月は「アウトドア用品」がテーマです。デザインも洗練されて機能的なため、普段使いしている方も多いようですね。

図の中で、たて、よこ、ななめの一直線に下のリストのキーワードが読めるようになっています。

どこにあてはまるか探してください。すべて探し終わったら、どれにも使用しなかった文字をうまく並べかえてください。

リスト

- | | |
|---------------------------------------|--------------------------------|
| ☐ アマグ(雨具) | ☐ ナイフ |
| ☐ アルミホイル | ☐ バケツ |
| ☐ ケトル | ☐ ピッケル |
| ☐ ゴーグル | ☐ ライト |
| ☐ スコップ | ☐ ヘルメット |
| ☐ スプーン | ☐ ホイッスル |
| ☐ ソウガンキョウ(双眼鏡) | ☐ マキ(薪) |

〈ヒント〉これひとつあれば、どこでもぐっすり?眠れます。

解き方

リストの言葉をマス目の中からタテ、ヨコ、ナナメの一直線に探していきます。文字は逆方向から読んでも、他の言葉と重複して読んでもOK。すべて見つけた後、使われなかった文字をうまく並べかえると答え(魚の名前)になります。

例題

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

- リスト**
- ☐ アキアジ
 - ☐ コマイ
 - ☐ プリ
 - ☐ サンマ
 - ☐ コンブ
 - ☐ アサリ

ア	コ	ン	ブ
キ	ア	サ	リ
ア	バ	ン	サ
ジ	コ	マ	イ

〈解答〉サバ

間違いさがし

間違いは5つです。

※右と左の絵には、5カ所の異なる点があります。
さあ、見つけてください。
(印刷のズレや汚れは関係ありません。)



※答えは13ページにあります。

35年間で120万本以上の植樹を実施!



道民の森で「お魚殖やす植樹運動」植樹行事が開催

5月30日(火)、当別町の道民の森に北海道女性連や地区漁協組合長会、地区漁協専務参事会、コープさっぽろ、農林中央金庫、道水産林務部、ホクレン、道内の水産関係団体など26団体から約70名が集まり、植樹が行われました。今年は500本のミズナラやニレの苗木が植えられ、未来の森づくりに向けた歩みを進めることができました。

当日の植樹行事では開会にあたり、ぎょれん副会長であり、環境保全対策本部の本部長を務めるいぶり噴火湾漁協・岩田組合長が「昭和63年から始まったお魚殖やす植樹活動は、今年で35周年を迎え、これまでに植えられた苗木は累計120万本を超えるものとなっている。正に『継続は力なり』であり、今後とも皆さんと共に続けていきたい」と挨拶。続いて、北海道女性連の高松会長は「私たちは漁業者として、安心・安全で栄養豊富な魚介類を全国の食卓に届ける使命があり、そのためには先人が守り育てた豊かな海を孫の代まで引き継いでいかなければならない。これからも全道の漁協女性部員と多くの方々のご賛同・連携のもと、たゆまぬ努力を続けていきたい」と述べました。

また、多くの職員が参加した道水産林務部の山口水産林務部長からも来賓を代表してご挨拶を頂くと、その後は当別町森林組合の尾形業務係長より苗木の植え方について説明を受け、参加者の皆さんの手で1本1本丁寧に植えることができました。

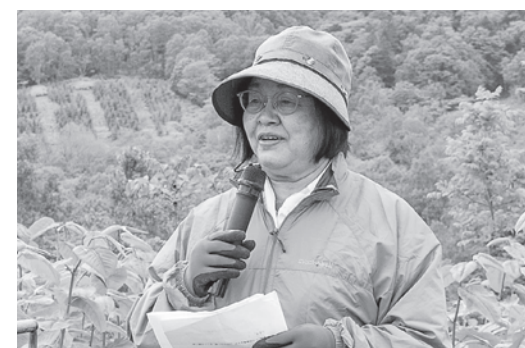
道内各地で展開されているお魚殖やす植樹運動は、今年も5月上旬から順次始まっており、今年度も合わせて1万本以上の苗木が植樹される予定となっています。



当別町森林組合の尾形業務係長(右)からは苗木の植え方だけでなく、森として育ていく過程などお話しいただきました



ぎょれん 岩田副会長



北海道女性連 高松会長



道水産林務部 山口水産林務部長

浜のおかあさん レシピ

コクのあるたれが
ほたてのおいしさを引き立てます！



ほたて丼

今回は「ほたて丼」をご紹介します。
バター風味もプラスしてごはんもすすみます。



材料(4人分)

ほたて(貝柱)…………… 20個
塩こしょう…………… 少々
小麦粉…………… 大さじ4
バター…………… 10g
長ねぎ…………… 1本
しいたけ…………… 6個
米…………… 2合半(かために炊く)

A

バター…………… 10g
油…………… 大さじ1

たれ

みりん…………… 大さじ3
醤油…………… 大さじ2
オイスターソース… 大さじ1
砂糖…………… 小さじ1

作り方

- ① ほたては2枚に開き、塩こしょうを軽くして10分おきます。
- ② 出てきた水分をペーパーで押さえ、小麦粉をまぶします。
- ③ 長ねぎは白い部分20センチ程度を4等分にし、縦に細い千切りにします(白髪ねぎを作る)。青い部分は、10センチを2等分にし、同様に切ります(青ねぎを作る)。しいたけは石づきを切り、縦に4つに切ります。
- ④ たれの材料を合わせます。
- ⑤ フライパンにAを入れ、ほたてを入れて焼き色がついたら、いったん取り出します。
- ⑥ ⑤のフライパンにバター10gを加えて、しいたけを炒め、火が通ったらほたてを戻して④のたれを流し入れ、沸騰させ、照りが出るまで加熱します。
- ⑦ 炊きあがったご飯の上に白髪ねぎを散らし、さらに⑥のをせフライパンに残ったたれをかけ、青ねぎを飾ったら出来上がり。

常呂漁協

川口 睦子さん

